

事例調査の結果から、団体の活動が活発化するためのチェックポイントをまとめましたので、団体支援の際に活用してください。団体にアドバイスするときには、わかりやすい言葉で説明することが求められますので気をつけましょう。

また、点検は定期的に行うことで、その効果が発揮されます。継続して点検を行ってください。

【点検の指標】◎：できている ○：もう少し △：がんばろう

## ●取組を活発化させるためには

取組が活発化する要因	年	年	年
・丁寧なニーズ調査を行っており、ニーズに合った取組内容になっていますか			
・団体内で、定期的な打合せや関係者に情報提供を行うなどの工夫をしていますか			
・活動を継続的・安定的に行えるよう、専門的なスタッフを置く、役割分担をするなど、組織づくりを行っていますか			
・取組を継続するために資金や人材について意識して取り組んでいますか			
・取組がニュースや広報誌などに取り上げられるなど、活動が認められたことがありますか			
・団体の状況に合わせて、取組の規模や取組手法を定期的に見直していますか			

## ◆ポイント

取組が活発化するには、組織内で情報共有ができている。組織運営や事業運営に必要なスタッフやスキルなどを持っている。活動について広く発信するスキルを持っているという要素が必要です。

また、取組の目的やニーズと、活動主体の担い手の状況やキャパシティを考慮し、活動主体の状況にあった取組手法や取組規模を検討することが活発化につながるといえます。

## ●担い手を増やすためには

担い手の参画・育成のための仕掛け	年	年	年
・活動に楽しめる要素を取り入れるなど、参加してみようという気持ちを高める工夫をしていますか			
・活動目的、取組内容、成果等の団体の活動内容や活動に参加する方法が分かりやすく示されていますか			
・参加してもらう人の負担軽減や、各自の都合に応じた対応を行うなど、参加する際のハードルを下げる工夫をしていますか			
・参加にあたり、身近な知人に声をかけるなど、日ごろのつながりやコミュニケーションの中で誘いあっていますか			
・担い手に対して、活動の目的や意義の確認、活動スキルを高める目的の研修や勉強会、打合せを行っていますか			
・担い手の活動を認める工夫や、活動に楽しい要素を取り入れるなど、モチベーションを維持するような工夫をしていますか			

## ◆ポイント

多くの方に活動に参画してもらうためには、受け入れ体制を整え、積極的でオープンなスタンスをもち、参加のハードルを下げる工夫や参加したいという工夫をし、日頃のつながりのなかでよいタイミングで誘い合うことなどが必要といえます。

また、担い手を育成するには、活動意義の確認や活動スキル向上を目的とした研修や勉強会などの機会を持ち、活動に楽しい要素を取り入れる、担い手の活動を認知・顕彰する機会を持つなどしてモチベーションを維持する工夫が必要であるといえます。

●課題解決をより一層進めるためには

連携協働をはじめめる契機	年	年	年
・現在のメンバーでは解決しない、取組が広がらない課題があることを認識していますか			
・他の団体と連携協働することで、課題解決が進む場合があることを知っていますか			
・課題が解決できるなら、他の団体と連携してみようという前向きな姿勢がありますか			
・団体のリーダーが連携協働に積極的ですか			
・他の団体の参画が得やすいよう、課題や取組をオープンにしていますか			
・行動を起こしたときに、適切なアドバイスをくれる人・団体に出会えていますか			

◆ポイント

連携協働の取組がはじまるためには、活動主体においては、リーダーをはじめ団体の総意として、連携協働で取り組むことの必要性やメリットについて理解が進んでいる必要があります。

●他団体と連携するには

多様な主体の参画のための仕掛け・連携協働が進む要因	年	年	年
・協働相手が参画しやすいように受け入れ体制を整備していますか			
・多様な主体と連携するためには、参画を促す工夫が必要であることを認識していますか			
・実施主体としての連携に限らず、場所や資金の協力、ノウハウの伝授や情報発信支援など、多様な連携の形態を認識していますか			
・連携協働を考えたときに、地域にある交流の場を紹介してくれたり、多様な主体と連携する協力してくれるコーディネート機能に出会えていますか			
・合意形成を図りながら進めることができるスキルを持っている人材がいますか			

◆ポイント

多様な主体に参画してもらうためには、他団体と連携する体制を整え、オープンなスタンスで情報を発信し、連携相手に応じた多様な連携の形態を視野にいれて、参画のハードルを下げる工夫や参画したいという気持ちが高まる工夫をすることが必要です。また、異なる団体間の意見をまとめていくスキルを持った人材がいることも必要です。

～ 全体を通じて～

<p>【取組の活発化】</p> <p>➢組織内で情報共有ができています</p> <p>➢運営に必要なスタッフやスキル・ノウハウを持っている</p>	<p>【担い手の参画】</p> <p>➢受け入れ側がオープンなスタンスを持っている</p> <p>➢参加のハードルを下げる工夫をしている</p>	<p>【連携協働】</p> <p>➢連携協働することの必要性やメリットに気付いている</p> <p>➢団体のリーダーが連携協働に積極的である</p>	<p>【多様な主体の参画】</p> <p>➢ノウハウの伝授を行うなど多様な連携の形態を取り入れている</p> <p>➢多様な主体の参画を促す工夫をしている</p>
---	--	--	---